



テープカットで開店をお祝い。右端が原田社長。

4月24日、大仙市太田町の工場で製造したジャムをネットや通信販売している食品・化粧品製造販売「ローズメイ（本社 神奈川県相模原市・原田社長）」が、直営店を角館駅前オープンしました。前日には、オープニングセレモニーが行われ、多くの関係者が集まり、開店をお祝いしました。

ジャム通販『ローズメイ』直営店がオープン

同社は全国の地方新聞社でつくるインターネット通販サイト47CLUBで人気の「オレンジスライスジャム」をはじめとする各種ジャムや秋田県産のハチミツ、ロイヤルゼリー関連の健康食品などを販売しています。原田社長は「武家屋敷通りは賑わっているが、駅前が寂しい感じがした。駅前がもっと盛り上がったらいいなと思う。『新幹線を待っている人のくつろげる場所』×『地元の人にとって立ち寄りやすい場所』×『観光客と地元の方の接点となる場所』になってほしい」と期待を込めていました。

原田社長のイチオシ！

ここでしか食べられないオレンジスライスソフトはもちろん、5月頃まではイチゴを使ったコンフィチュールもおすすめです。イチゴの形がくずれないように限界までハチミツで煮詰めています。これからは、季節にあった色々な果物を使用したジャムを販売していきたいと考えています。



直営店のカフェスペースでは、オレンジスライスジャムを混ぜたソフトクリームやチーズケーキ、ブレンドコーヒーなどがいただけます。



桜など魅力的な作品の数々を展示。開催期間は5月31日まで。



小松ひとみさん（左）によるギャラリートーク。写真愛好者や市民など約100人が、小松さんの作品解説に耳を傾けていました。

小松ひとみ写真展

4月18日から平福記念美術館で、角館出身の写真家・小松ひとみさんの写真展を開催しています。角館の桜を題材にした作品「桜逢瀬」が30点、「みちのく色語り」が24点展示されています。開催初日には、オープニングセレモニーが行われ、小松さんのギャラリートークが行われました。

【小松さんへQ&A】

Q：全国で展示会を開催されてきたと思いますが、地元での開催はいかがですか。

A：桜のまちで育ったので、地元の人に見てもらえる機会をいただけてうれしいです。

Q：たくさんの方が初日からいらっしやっていますが、お気持ちを聞かせてください。

A：こんなに大勢の人に来ていただき感謝しています。桜という被写体があります。今日来られた皆さんは、ほとんど知っている方々です。困った時にはいつも助けてくださり、応援してくださるのも地元の人たちでした。皆さんに恩返しできるのは写真でしかないと思っています。

美しさを堪能 角館の桜まつり



角館榊細工伝承館の南側ではシダレザクラが咲き始め、黒板塀の前で撮影する光景が見られました。（4月20日撮影）



日増しに花が色づき、観光客で賑わいをみせました。（4月22日撮影）



オープニングセレモニーでは、おやま囃子を披露。

4月20日から5月5日まで、角館の桜まつりが開催されました。初日には、武家屋敷通りのシダレザクラが咲き始め、訪れた観光客が記念撮影しながら散策などを楽しみました。また、桧木内川堤前の特設会場では開幕を祝うオープニングセレモニーが行われ、関係者による鏡開きやおやま囃子が披露されました。期間中は、全国から多くの観光客が訪れ、満開を迎えた桜の魅力を堪能していました。



満開を迎え咲き誇る桧木内川堤のソメイヨシノ。（4月30日撮影）

生保内公園クリーンアップ



地域住民が清掃活動

4月29日、生保内公園でつじ祭りの開催を控えたクリーンアップが行われました。生保内公園愛護会（稲田修会長）の呼びかけで、地域の住民や生保内中学校の生徒、先生など約200人が参加。早朝から園内の清掃や松の枝拾いなどに取り組みました。参加者は「強風の影響で枝が多く落ちていましたが、これで気持ちよく観賞や散策ができます」と話していました。



早朝からクリーンアップに汗を流す参加者たち。

大村落少年像建立 30周年



冥福祈り友好誓う

4月21日、戊辰戦争で亡くなった大村落（長崎県）の少年鼓手「濱田謹吾」の銅像建立30周年記念式典が角館町岩瀬の天神山で開催されました。仙北市からは約60人、姉妹都市である大村市からは約90人が出席。濱田少年など戦没者の冥福を祈り、両市の友好を誓いました。大村市の園田裕史市長は「戊辰戦争150年を記念した連携事業を実施したい」と述べました。



大村市と仙北市の関係者が集まり、濱田謹吾像の前で記念撮影。